

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	地理歴史・歴史総合	学科・コース	美術科 1 年																																				
単元名	第 2 部第 2 章第 1 節 第一次世界大戦と大衆社会（第一学習社『高等学校 歴史総合』）																																						
単元目標	知識及び技能について ・ 第一次世界大戦における総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・ 20 世紀初頭の、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 思考力、判断力、表現力等について ・ 第一次世界大戦の性格と惨禍、大戦後の国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 学びに向かう力、人間性等について ・ 第一次世界大戦前後の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に、課題を主体的かつ協働的に追究、解決しようとする。																																						
課題	大衆社会の成立について、各国の状況を比較する。また、日本において、政党政治を実現させた大衆の行動はその後の歴史にどのように影響していくのかを考察する。																																						
単元の中心となる問い	第一次世界大戦後、日本を含む各国では大衆社会がどのように形成され、また社会運動がどのように広がりを見せたのか。																																						
評価規準（B 段階）	<table><tr><th colspan="4">知識・技能</th><th colspan="4">思考・判断・表現</th><th colspan="4">主体的に学習に取り組む態度</th></tr><tr><td colspan="4">本時の学習内容を適切に理解し、必要に応じて既習の知識の確認を行っている。また、資料・史料から情報を適切に読み取ったりまとめたりして、獲得した知識を補完するための材料として有効に活用できている。</td><td colspan="4">これまでに学習した他の地域・時代の事象と比較を行い、その共通点や関連性、因果関係などに着目することができている。また、日本の大衆社会や社会運動が他国のそれと共通する点を持つものであるか否かを考察し、表現することができている。</td><td colspan="4">教科書の記述や資料・史料を用いながら、設定された課題解決のために主体的に取り組んでいる。また、他者の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめようとしている。</td></tr><tr><td>SP 9</td><td>基</td><td></td><td></td><td>SP 9</td><td>分</td><td>発</td><td></td><td>SP 9</td><td>創</td><td>連</td><td></td></tr></table>			知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				本時の学習内容を適切に理解し、必要に応じて既習の知識の確認を行っている。また、資料・史料から情報を適切に読み取ったりまとめたりして、獲得した知識を補完するための材料として有効に活用できている。				これまでに学習した他の地域・時代の事象と比較を行い、その共通点や関連性、因果関係などに着目することができている。また、日本の大衆社会や社会運動が他国のそれと共通する点を持つものであるか否かを考察し、表現することができている。				教科書の記述や資料・史料を用いながら、設定された課題解決のために主体的に取り組んでいる。また、他者の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめようとしている。				SP 9	基			SP 9	分	発		SP 9	創	連	
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																															
本時の学習内容を適切に理解し、必要に応じて既習の知識の確認を行っている。また、資料・史料から情報を適切に読み取ったりまとめたりして、獲得した知識を補完するための材料として有効に活用できている。				これまでに学習した他の地域・時代の事象と比較を行い、その共通点や関連性、因果関係などに着目することができている。また、日本の大衆社会や社会運動が他国のそれと共通する点を持つものであるか否かを考察し、表現することができている。				教科書の記述や資料・史料を用いながら、設定された課題解決のために主体的に取り組んでいる。また、他者の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめようとしている。																															
SP 9	基			SP 9	分	発		SP 9	創	連																													
評価場面・評価方法	<table><tr><th colspan="4">知識・技能</th><th colspan="4">思考・判断・表現</th><th colspan="4">主体的に学習に取り組む態度</th></tr><tr><td colspan="4">・ 定期考査 ・ 単元テスト</td><td colspan="4">・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）</td><td colspan="4">・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）</td></tr></table>			知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				・ 定期考査 ・ 単元テスト				・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）				・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）															
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																															
・ 定期考査 ・ 単元テスト				・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）				・ 定期考査 ・ 授業毎の作業 ・ 自己評価（振り返り）																															
単元の指導計画	時	学習活動						指導と評価の観点																															
								知	思	態	SP 9																												
	1	第一次世界大戦						○		◎	基礎力 分析力 発信力 創造力 連携力																												
	2	ロシア革命とソ連の成立						○		◎	同上																												
	3	ヴェルサイユ=ワシントン体制						○		◎	同上																												
	4	アジア諸国の独立運動						○		◎	同上																												
	5	東アジアの民族運動と日本						○		◎	同上																												
	6	アメリカの大衆社会						○		◎	同上																												
7	【本時】 大正デモクラシーと日本社会の変化							○	◎	同上																													

※本時の実際は裏面にあります。

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時	令和6年11月6日(水) 6限		指導者	加治 大樹
学級	1年8組		場所	1年8組教室
単元名	第2部第2章第1節 第一次世界大戦と大衆社会(第一学習社『高等学校 歴史総合』)			
課題	大衆社会の成立について、各国の状況を比較する。また、日本において、政党政治を実現させた大衆の行動はその後の歴史にどのように影響していくのかを考察する。			
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	SP9
	導入(10分)	1 前時の学習について振り返り、本時の課題について確認する。 2 教科書を音読する(個人または複数人の活動)。その内容が理解できるか、課題解決にどのように活用できるかを意識しながら音読する。意味を理解できなかった語句・文章に、共有ノートの画面上で印をつけ、共有する。	・前時の内容を振り返る中で新たに生じた疑問について共有する。 ・本時の課題を解決するためには、既習事項の比較と整理、事象の背景に対する考察が必要となることを意識させる。 ・見る、読む、聞くことで、自分自身の知識の定着度合や内容理解力を測る。 ・分からない箇所を意識・共有することで内容理解に向けた意欲を喚起する。また、自分だけが分からないのではないという安全・安心感を得られる学習環境を醸成する。	基礎力 分析力 連携力
	展開(35分)	3 音読する中で分からなかった箇所を前方スクリーンに投影した画面で共有し、語句・意味の解説を加える。 4 本時の内容について概要を説明する。説明には、前方スクリーンに投影する、準拠ノートに則したスライド画面を用いる。 5 課題解決のための学習活動を行う。ロイロノートの共有ノートを用いて、個人または複数人で活動する。 ア. 大衆社会成立について、各国の状況比較 イ. 日本の大衆行動の影響について考察 6 学習活動と並行して、活動成果について共有する。前方のスクリーンに活動の経過又は成果を投影し、適宜コメント等を補っていく。	4 個々の歴史的事象ではなく、それら相互のつながりや既習事項との関わりを俯瞰的にとらえることを意識させる。 ・生徒は画面上または生徒間の実際の交流による他者参照を行い、考えの方向修正や質の向上を図る。 ア-(1) 活動開始に先立ち、日本と他国の大衆社会成立に共通点があるか否かについて予想を立てる。 ア-(2) 教科書の複数ページにわたる内容から、関連性を比較する。 イ-(1) 中学校の学習内容も含めて、本時の内容と既習内容を関連付けて、影響を考察する。 ・共有ノート画面、提出箱に提出された活動成果を紹介しながら、理解の方向性を確認する。 ・成果の内容に明らかな誤りがある場合、その理解内容について再検討を促す。	基礎力 分析力 連携力 分析力 発信力 創造力
	振り返り(5分)	7 振り返りを行う。	7 ロイロノートのアンケート機能を利用して、学習態度、内容理解度の段階別自己評価を行う。また、解決できなかった疑問、新たに生じた問い等を書き込ませることで、「問い」等の継続性を意識させる。	発信力 自奏力